

村井議員

3、医療行政 医師・看護師の確保と養成について質問をします。

医師確保について

いま、地方でも都市でも医師不足が重大な社会問題になっています。政府はこれまで、「医師が増えれば医療費が増大する」と宣伝し、医師の養成数を抑制し、日本を世界でも異常な「医師不足の国」にしてきました。これは歴代政権の失政です。

我が党はこの間、削減されつづけた診療報酬の抜本的増額・病床削減・病院統廃合の中止、地域医療全体を底上げする医療政策の転換が必要と国に求めてきました。

本市でも医師不足の影響は甚大です。医師が確保できないため、福山市民病院附属加茂診療所を廃止しました。また不採算部門の小児科・産科医の減少をはじめ救命救急の医師の多忙化も深刻です。

この問題を解決するためには、医師の抜本的増員に向けた国の取り組みと共に、自治体独自の取り組みも必要です。本市の医師の充足状況と医師確保に向けた本市の取り組みと課題についてお答えください。

また、平成２３年に「財団法人広島県地域保健医療推進機構」が設立され、地元出身医師の確保を目的とした、医師奨学金制度を設けたとの事ですが、本市への具体的な成果についてお示し下さい。

庄原市では「医療従事者育成奨学金制度」を実施しています。貸付金額は、医学生は月額 20 万円、入院支度金は 100 万円で、貸付期間は6年間となっています。

本市でも、とりわけ産科・小児科医を確保するための奨学金制度の創設をすることを求めますが、ご所見をお示し下さい。

次に、看護師確保について伺います。

近年、看護師不足が深刻化していますが、原因の一つとして、看護師養成の定員数が少ないことが上げられています。

医師会の資料によると、人口１０万人あたりの看護学校定員数は、県全体７０人に対して、県西部は７４人、福山市は４３人と圧倒的に少ない状況です。

広島県東部地区の看護師養成は、福山市医師会看護専門学校・府中地区医師会看護専門学校・平成大学の３校が担っています。

我が党は、福山市医師会看護師養成学校へ視察に行きましたが、養成校の先生は「医師会看護学校の卒業生の約７割が市内病院で勤務し、地域医療の担い手として活躍している。

地域医療を支えるため看護師確保は必要だが、養成校は毎年赤字で非常に厳しい運営をしている。もっと積極的な支援をお願いしたい」と訴えられました。

福山市は医師会看護学校に対して、「看護師養成所運営費補助」を交付しています。養成校の安定的な運営のためには、補助金の増額が必要ですが、ご所見をお示し下さい。

今年９月に、福山医師会から議会へ提出された「平成２７年度福山市への施策提案要望」には、「医師会は看護師不足の改善のため、学生定員増に取り組んでいる。施設設備の拡張や改修、教員確保に向けて、財政的な支援を強く要望する」と書かれています。

今後の地域包括ケアや緩和ケア、医療と介護の連携など、地域医療・介護を支えるには看護師の抜本的増員は喫緊の課題です。増改築に向けて、積極的な財政支援等を行うことを求めますが、ご所見

をお示し下さい。

11月の決算特別委員会では、我が党は、医師会や市民の要望を把握しながら、看護師養成校の設置を市として取り組む事を要望しましたが、今後どのように検討していくのか、ご所見をお示し下さい。

答弁

次に、医師・看護師の確保と養成についてであります。

まず、医師数につきましては、国の「２０１２年（平成２４年）医師・歯科医師・薬剤師調査」によると、市内医療機関に従事する医師は、９５０人であります。

なお、昨年度、市内の医療機関は、医療法における基準の医師数は、充足されております。

医師確保につきましては、「広島県保健医療計画」に基づいて、県が設立した「広島県地域保健医療推進機構」が中心となり、医師の招へい活動や配置調整、勤務医の離職防止支援など、医師確保対策に総合的に取り組まれているところであり、市内の臨床研修病院の初期研修医も、年々、増加している状況であります。

医師育成奨学金制度については、すでに広島県において３種類の制度があり、このうち、一般募集奨学金は、毎年、応募者が定員に達していない状況から、本市の医学生が利用できる条件は整っており、本市において、新たな奨学金制度の創設は、考えておりません。

次に看護師確保についてであります。

現在、「福山市医師会 看護専門学校」等に対し、運営費の補助に

加えて、講師の派遣など、総合的な支援を行っております。

また、「福山市医師会 看護専門学校」の増員に向けた施設整備計画については、現在、福山市医師会において検討されていると伺っております。

なお、市における看護師養成校の設置については、現時点においては、考えておりません。

看護師確保については、引き続き、広島県や医師会等と十分協議を行う中で、取り組んでまいります。

以上